

令和二年七月臨時会 日程および概要

日程
令和二年七月二十八日(火)

- ・開会
- ・知事提出議案説明
- ・会派代表による質疑
- 令和二年七月二十九日(水)
- ・常任委員会
- ・委員長報告
- ・採決
- ・閉会

概要

令和二年七月臨時会は、七月二十八日から二十九日まで二日間の日程で行われました。

知事から、感染拡大防止策と医療提供体制整備、県民生活や県内産業支援のための令和二年度茨城県一般会計補正予算案一件および専決処分報告一件の議案が提出され、各会派から、提出議案についての代表質疑が行われました。常任委員会の審査を経て、本会議での採決の結果、これら二件の議案は可決、承認されました。

● 質疑者

- 川津 隆 (いばらき自民党)
- 設楽 詠美子 (県民フォーラム)
- 高崎 進 (公明党)
- 山中 たい子 (日本共産党)

議場での質疑の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます。



感染拡大防止策と医療提供体制整備、県民生活・県内産業支援を審議 7月臨時会 代表質疑(要旨)



川津 隆 議員
いばらき自民党
水戸市・城里町選出
一括方式

経済状況の見通しを踏まえた産業支援

議員 世界経済がコロナショックと言えざる状況の中、地域経済を守るためにも、先行き不透明な業態への支援をどう進めていくのか。

知事 無利子・無担保の融資制度などの周知に努めるほか、影響が大きい宿泊、飲食などの業種では、県内宿泊の促進や県産品の販路拡大、タクシー事業者によるデリバリーモデルの構築などを支援していく。また、感染防止対策を講じる事業者へ「いばらきアマビエちゃん」の導入促進を図り、プレミアム商品券や家賃助成といった市町村の支援策に助成するなど、地域経済を強力に下支えしていく。

医療従事者等へのケア

議員 強い使命感で現場に立つ医療従事者に寄り添い、県民の心の応援ネットワークを広げる取り組みを進めてもらいたい。所見は。

知事 クラップ・フォー・ケアアライズや、県独自の応援金制度への寄附を通じて寄せられる多数の応援メッセージなどにより、県民一体で医療従事者などへ感謝を伝える取り組みを進めている。さらに、新たに慰労金を給付し、その功労に報いるとともに、差別や偏見を受けられることなく、安心して医療に従事できるよう、現場の皆様へ寄り添った支援に取り組んでいく。(ほかに、補正予算の編成方針、県民生活への支援なども質疑)



設楽 詠美子 議員
県民フォーラム
筑西市選出
一括方式

医療・福祉機関などの徹底した感染予防対策の充実

議員 受診控えは重大な健康被害につながる可能性もあるため、県民が安心して受診できる対策が必要だ。県民の安心と健康を守るため、地域医療を担う医療機関や薬局などをどう支援していくのか。

知事 四月以降の感染拡大防止対策などに要する費用を補助する補正予算案を提出し、当該費用を幅広く補助の対象とする予定であり、医療機関などへの周知徹底を図っていく。介護・障害福祉施設への助成も現在調整を進めている。(ほかに、医療・福祉従事者などへの慰労金、Withコロナにおける中小企業支援なども質疑)



高崎 進 議員
公明党
水戸市・城里町選出
一括方式

検査体制の拡充に向けた取り組み

議員 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取り組みが、今、最も重要である。特に第2波への備えとして、検査体制の拡充が求められるが、取り組みは。

知事 今後、県衛生研究所に検査機器を整備し、民間検査機関などの協力を得て検査可能件数を拡大し、地域外来・検査センターの増設も前倒しで進める。また、クラスター対策として検査対象者の範囲を拡大するほか、抗原定量検査などの新たな検査技術の導入に向け、医療機関の機器整備を支援していく。(ほかに、感染防止対策の強化、中小企業等への支援強化なども質疑)



山中 たい子 議員
日本共産党
日く市選出
一括方式

医療機関への財政支援

議員 医療機関は深刻な経営危機に直面している。関係団体は国に抜本的な財政投入を要望し、緊急的には、過去の診療実績に基づき減収を補填する診療報酬の概算払いを求めている。医療機関への財政支援、減収補填について知事の所見は。

知事 国の第二次補正予算に連動し、病院などの感染拡大防止対策など速やかに医療機関への支援を行うこととした。今後も県内医療機関の経営状況などを注視しながら、全国知事会とも連携し、国に支援策の拡充を強く要望していく。(ほかに、保育士などに対する慰労金など地方創生臨時交付金の活用も質疑)

第三回定例会で「魅力向上に関する調査特別委員会」の中間報告を行いました

本委員会(川津隆委員長)は、今年六月以降これまで五回開催し、県執行部から説明を聴取するとともに、情報発信の分野で活躍する企業の代表者の話を伺うなど、活発な議論を行ってまいりました。

中間報告では、県の特色ある地域資源を発掘して磨き上げ、国内外へ効果的に発信することや、探究的な学びに向けた教育の充実など、県の魅力向上のため重点的に取り組むべき事項をとりまとめました。

そして、委員会での議論の趣旨が、予算や組織体制などに適宜的確に反映され、効果ある施策が速やかに実施されるよう知事に求めました。

今後、最終報告書の取りまとめに向け、引き続き精力的に調査検討を進めてまいります。



中間報告を行う星田弘司副委員長

決算特別委員会を開催しました

決算特別委員会(萩原勇委員長)では、九月十六日に付託された「令和元年度茨城県公営企業会計決算の認定」および「令和元年度茨城県公営企業会計に係る利益の処分」について、九月二十五日に委員会を開催し、審査を行いました。

審査にあたっては、公営企業を所管する企業局、病院局、土木部の各部署から事業実績などの説明を聴取するとともに、

監査委員に決算審査意見を求め、詳細な審査を行いました。

今後は、十月一日に付託された「令和元年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定」について、閉会中に委員会を開催して部局ごとの審査を行い、第四回定例会の会期中の委員会において総括質疑、採決を行う予定です。

ことば ※【クラップ・フォー・ケアアライズ】…Clap For Carers。新型コロナウイルスに対峙する医療従事者をたたえるため、決まった時間に、趣旨に賛同した方々が医療従事者に拍手を送る運動。